編集後記

10月を迎え，ようやく暑さも和らぎ，秋の訪れを感じる頃となりました。一方，9月は長雨が続き，各地で豪雨による被害もみられました。災害のニュースに接するたび，平時から備えることの大切さを改めて感じます。

第73巻10号では，将来構想検討委員会からのお知らせと提言書に加え，原著2報，公衆衛生活動報告1報，資料3報，特別報告1報の計7報が掲載されています。提言書には本学会の将来構想に関する提言がまとめられていますので，ぜひご一読ください。

堀らの原著は，新型コロナウイルス感染症罹患者において，中長期的に持続する罹患後症状が社会経済状況に及ぼす影響を検討した研究です。罹患後症状が12か月以上持続した群では，世帯収入に変化はみられない一方で，主観的経済状況が悪化したと回答した割合が高くなっていました。感染症の影響を，生活や社会経済状況まで含めて捉える重要性を考えさせられました。

黒澤らの原著は，中山間地域の成人における世代内・世代間交流と精神的健康との関連を検討した研究です。若年層では同世代との交流が良好な精神的健康と関連していた一方，世代間交流との関連はみられませんでした。地域における人とのつながりのあり方を考える上で興味深い報告です。

苗村らの公衆衛生活動報告は，SMSによる特定健診の受診勧奨について，若い世代への効果を検証したものです。若い世代ほど健診案内ページへのアクセス率は高かったものの，受診には結びつきにくいという結果でした。情報提供を健康行動につなげる難しさを感じました。

坂田らの資料は，本誌8号の桑波田らの報告に続きレジオネラ症集団感染を取り上げたもので，国内の事例を横断的に分析しています。日常的な衛生管理に加え，集団感染発生時に備えて対応の根拠や体制を整えておくことの重要性が示されており，健康危機への備えについて示唆に富む内容です。

平野らの資料は，就業経験を有する新人保健師のキャリア発達に関連する人材育成体制と家庭訪問到達度を検討した全国調査です。職場で相談できる環境や家庭訪問の到達度がキャリア発達と関連していました。多様な経験をもつ人材が保健師として力を発揮するためにも，系統的な人材育成が重要であることがうかがえます。

野村らの資料は，全国の医科大学・医学部における公衆衛生・衛生学教育と，医学生の公衆衛生への関心や卒後の進路を検討した研究です。行政医を志望する学生は約5％にとどまる一方，疫学・衛生統計への関心が公衆衛生への関心と関連していました。将来の公衆衛生を担う人材の育成に向けて，教育のあり方を考える手がかりとなる内容です。

吉益らの特別報告は，コロナ流行期およびポスト・コロナ期における医療従事者のメンタルヘルスについて，災害産業衛生の視点からまとめたものです。健康危機に対応する人々自身の健康を守る仕組みを整えておく重要性を再認識させられます。

本号では，感染症，地域の交流，健診，人材育成，公衆衛生教育，医療従事者の健康と，幅広いテーマが取り上げられています。いずれも，人々の健康を支えるために，個人だけでなく地域や組織，制度に目を向ける公衆衛生の視点につながっています。本号の報告が，皆様の日々の実践や研究を振り返り，新たな取り組みにつながる機会となれば幸いです。

（鈴木良美）

次号予告（第73巻・第11号）

論　壇
「窓口のなかの国家」から問い直す：外国人住民への保健行政対応の論点 …… 児山洋平

原　著
介護保険施設における心理的安全性の阻害要因：施設長の認識の質的研究 ……富永真己，他
統括保健師配置と自治体保健師採用数との関連について ……岡田悠希，他
高齢者の通いの場参加と3年後のフレイルとの関連：JAGES2016・2019・2022の3時点パネルデータによる縦断研究 ……柴田亜希，他

資　料
地域在住高齢者の不眠に影響する要因の検討 ……島田今日子，他
高齢者福祉施設における暑熱への対応と課題：インタビュー調査の計量テキスト分析 ……高橋恭子，他